

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成25年度決算見込み】

本市の平成25年度給水量(有収水量)は、上水道と簡易水道を合わせて6,662,432^mで昨年度と比較して0.5%減少しております。

また、給水件数は22,517件で3.56%の増加となっております。詳細につきましては、別表1をご覧ください。

主要事業といたしましては、安定給水を図るため、合併創設第1次変更事業、配水管改良工事等を推進しました。

経理状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益11億6千421万6千円(前年度11億3千654万7千円)で2.4%の増加となっております。

一方、総費用につきましては、税抜きで11億9千3万1千円(前年度10億5千625万4千円)で12.7%の増加となっております。これは、資産整理に伴う特別損失の増加が主な要因です。

この結果、当年度におきましては、2千581万5千円の税抜き純損失を生じる見込みであります。

今後においても、水道施設の計画的な整備と長期的展望にたった財政計画により経営の健全化に努めてまいります。

【平成26年度予算概要】

平成26年度の予算概要につきましては、業務の予定量を上水道、簡易水道を合わせて給水戸数24,380戸、年間総給水量7,669,000^mを見込み、収益的収支につきましては、税込みで総事業収益14億1千10万円、安定給水に必要な総事業費用12億6千670万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、継続して施工する必要がある水道施設整備費等として、税込みで7億7千万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 (H25. 4. 1~H26. 3. 31)

区分	上水道			簡易水道		
	平成25年度	平成24年度	増減	平成25年度	平成24年度	増減
給水件数(件)	20,191	19,502	689	2,326	2,240	86
配水量 (m ³)	6,818,564	6,723,175	95,389	763,399	725,429	37,970
給水量 (m ³)	5,996,394	6,041,866	△ 45,472	666,038	654,106	11,932
有収率 (%)	87.9	89.9	△ 2.0	87.2	90.2	△ 3.0

2. 損益計算書 (平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	869,909	94,628	964,537
(2) 営業外収益	25,843	172,532	198,375
(3) 特別利益	0	1,304	1,304
総収益 (1)+(2)+(3) A	895,752	268,464	1,164,216
(4) 営業費用	742,576	212,648	955,224
(5) 営業外費用	65,386	32,429	97,815
(6) 特別損失	60,065	76,927	136,992
総費用 (4)+(5)+(6) B	868,027	322,004	1,190,031
当期純利益(損失) A-B	27,725	△ 53,540	△ 25,815

3. 貸借対照表 (平成26年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	8,026,146	固定負債	143,404
流動資産	1,803,110	流動負債	185,268
		負債合計	328,672
		資本金	3,026,864
		剰余金	6,473,720
		資本合計	9,500,584
資産合計	9,829,256	負債資本合計	9,829,256

簡易水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	3,758,969	固定負債	23,977
流動資産	354,961	流動負債	28,077
		負債合計	52,054
		資本金	1,395,369
		剰余金	2,666,507
		資本合計	4,061,876
資産合計	4,113,930	負債資本合計	4,113,930

4. 企業債残高明細 (平成26年3月31日現在)

上水道

(単位 千円)

借入先	前年度末 残高	平成25年度		本年度末 残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	1,382,307	0	90,710	1,291,597	平成52年3月
地方公共団体 金融機構	940,961	0	52,679	888,282	平成54年3月
吉備信用金庫	51,100	0	13,500	37,600	平成31年3月
中国銀行	53,200	0	7,600	45,600	平成32年3月
トマト銀行	41,720	0	20,860	20,860	平成27年3月
合計	2,469,288	0	185,349	2,283,939	

簡易水道

(単位 千円)

借入先	前年度末 残高	平成25年度		本年度末 残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	830,629	0	42,785	787,844	平成50年3月
地方公共団体 金融機構	467,009	0	13,659	453,350	平成54年3月
合計	1,297,638	0	56,444	1,241,194	

5. 平成26年度予算の概要

収 益 的 収 支

(単位 千円)

項目	金 額		
	上水道	簡易水道	合 計
(1) 営業収益	934,600	101,300	1,035,900
(2) 営業外収益	122,500	251,700	374,200
総収益(1) + (2) A	1,057,100	353,000	1,410,100
(3) 営業費用	810,600	241,600	1,052,200
(4) 営業外費用外	153,100	61,400	214,500
総費用(3) + (4) B	963,700	303,000	1,266,700
差 引 A-B	93,400	50,000	143,400

資 本 的 収 支

(単位 千円)

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
企 業 債	160,000	建 設 改 良 費	519,970
国庫補助金	0	企業債償還金外	250,030
分 担 金	45,000		
工 事 負 担 金	82,690		
他会計補助金	32,010		
計	319,700	計	770,000

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額4億5千30万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんするものとする。

総社市工業用水道事業の 概要及び経理の状況

【平成25年度決算見込み】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年8月から、受水企業の一部に給水を開始し、平成25年度では、19社に対し契約水量2,000立方メートル/日で給水いたしました。

経理状況につきましては、別表1 損益計算書のとおり、税抜きで総収益3千347万1千円（前年度3千338万9千円）で0.2%の増加となっております。

一方、総費用につきましては、税抜きで2千498万2千円（前年度2千311万2千円）で8.1%の増加となっております。

この結果、当年度におきましては、848万9千円の税抜き純利益を生じる見込みであります。

今後においても、安全・安定給水を図るとともに、計画的に施設の更新を実施することにより、事業の安定化に努めてまいります。

【平成26年度予算概要】

平成26年度の予算概要につきましては、受水企業19社、年間総配水量73万立方メートル、1日平均給水量2,000立方メートルを見込み、収益的収支につきましては、税込みで総事業収益4千290万円、総事業費用3千390万円を予定しております。

一方、資本的支出につきましては、工業用水道施設更新計画に伴う設計委託及び企業債償還等に必要な経費として、税込みで6千50万円の予算を計上しております。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1.損益計算書（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	33,113
(2) 営業外収益	358
(3) 特別利益	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	33,471
(4) 営業費用	23,305
(5) 営業外費用	1,147
(6) 特別損失	530
総費用 (4)+(5)+(6) B	24,982
当期純利益 A-B	8,489

2.貸借対照表（平成26年3月31日）

工業用水道

（単位 千円）

項目	金額	項目	金額
固定資産	349,895	固定負債	10,631
流動資産	168,770	流動負債	25,111
		負債合計	35,742
		資本金	157,636
		剰余金	325,287
		資本合計	482,923
資産合計	518,665	負債資本合計	518,665

3. 企業債残高明細 (平成26年3月31日現在)

工業用水道

(単位 千円)

借入先	前年度末残高	平成25年度		本年度末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	20,341	0	7,517	12,824	平成29年3月
地方公共団体 金融機構	360	0	360	0	平成26年3月
合計	20,701	0	7,877	12,824	

4. 平成26年度予算の概要

収益的収支

(単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	35,505
(2) 営業外収益	7,395
総収益(1)+(2) A	42,900
(3) 営業費用	30,720
(4) 営業外費用外	3,180
総費用(3)+(4) B	33,900
差引 A-B	9,000

資本的収支

(単位 千円)

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
企業債	40,000	建設改良費	50,440
工事負担金	100	企業債償還金外	10,060
計	40,100	計	60,500

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2千40万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金及び減債積立金で補てんするものとする。